

平成
28年度

連続
セミナー

持続可能な現代社会の創造に向けて

大阪府立大学現代システム科学域では、現代社会における様々な問題を多面的に捉え、持続可能な社会の構築に向け、課題解決できる人材の育成を目指しています。この教育内容は、堺エコロジー大学が目指す「持続可能な環境共生都市の構築」に向けた環境教育・環境学習の理念と一致することから、堺市との連携により連続セミナーを行います。

本学現代システム科学域の教員を講師陣とし、「持続可能な現代社会の創造に向けて」という共通テーマで連続セミナー（全5回）を開催し、大阪府立大学が持つ知識、技能を広く還元したいと思えます。平成27年度まで開催してきた連続セミナーの講師陣、講演内容を一新し、装いを新たに開催しますので、お楽しみください。

I-site なんば (南海なんば第1ビル2階) 大阪市浪速区敷津東 2-1-41

※駐車場・駐輪場はありません。 ※建物北側（ZEPP なんば側）の大阪府立大学専用入口からお入りください。

平成28年8月27日(土)～平成29年3月11日(土)

14:00～15:30 (受付 13:30～)

平成28年度 連続セミナー スケジュール

第1回 8月27日(土)



国境を越えた人の 移動時代を迎えて

—難民・移民を含む外国人の法的保護を
どのように考えればよいか—

水鳥能伸 (現代システム科学域 マネジメント学類 教授)

第2回 11月19日(土)



シンギュラリティを 生き抜くために

渡邊真治 (現代システム科学域 知識情報システム学類 教授)

第3回 11月26日(土)



南極における不思議体験 および雪氷中の化学反応

—大気雪氷間物質交換過程—

竹中規訓 (現代システム科学域 環境システム学類 教授)

第4回 2月18日(土)



経済学における 知の継承と発展

近藤真司 (現代システム科学域 マネジメント学類 教授)

第5回 3月11日(土)



拡張現実と人工知能 :ICTイノベーションを生む キーテクノロジー

太田正哉 (現代システム科学域 知識情報システム学類 教授)

全回(5回)ご参加の方に修了証を交付します。



- 定員 : 100名 (応募者多数の場合は抽選)
- 対象 : どなたでも
- 受講料 : 無料
- 申込方法 : 「FAX」、「郵送」または「Eメール」のいずれかで、「連続セミナー一括」と明記し、①氏名(ふりがな)・年齢 ②郵便番号・住所 ③電話番号(日中連絡のつくもの)をご記入の上、8月19日(金)必着で下記宛先までお申込ください。
※第1回～第5回まで全回一括のお申込となります。
※1回ごとのお申込につきましては、順次ホームページやチラシで案内しますので、都度お申込ください。
※携帯メールでの受付はしていません。
※定員を超えた場合のみ、ご参加いただけない旨の連絡をいたします。連絡がない場合はご参加いただけます。
- 申込先 : 〒599-8531 大阪府堺市中区学園町1-1
大阪府立大学 現代システム科学域支援室「連続セミナー」係
E-mail : 3s-sem@ml.osakafu-u.ac.jp
TEL : 072-254-7361 (ダイヤルイン) FAX : 072-254-9925

※お申込の際の個人情報、応募後の問合せ連絡、統計資料作成、並びに本学公開講座の案内以外は一切使用いたしません。

- 南海電鉄「難波駅(中央出口)」より、徒歩約12分
- 地下鉄御堂筋線「なんば駅(5号出口)」より、徒歩約15分
- 地下鉄御堂筋線・四つ橋線「大国町駅(1号出口)」より、徒歩約7分
- 地下鉄堺筋線「恵美須町駅(1-B出口)」より、徒歩約7分

連続セミナー（全5回）講演概要・講師紹介

第1回

国境を越えた人の移動時代を迎えて
—難民・移民を含む外国人の法的保護をどのように考えればよいか—
8月27日（土）14：00～15：30

欧州連合諸国に大量の難民・移民が押し寄せており、我が国にも外国人観光客が爆発(?)しています。国境を越えた人の大移動が起こっているのです。国境の壁は次第に低くなり、お隣さんが外国人という状況も珍しくありません。これは同時に彼らとの政治的、経済的、社会的そして文化的・宗教的な摩擦が増幅することでもあるのです。ヘイトスピーチ等外国人排外の動きはその好例です。こうした状況を我々はどうに理解し、対応すれば良いのでしょうか。セミナーでは、難民・移民受入れの先行国であった欧州連合諸国、とりわけ「亡命地」として多くの外国人を受け入れてきたフランスを手掛かりに、「規制」というよりは、「保護」の観点から皆さんと一緒に考えたいと思います。

水鳥能伸（現代システム科学域 マネジメント学類 教授）

1959年兵庫県生まれ。広島大学大学院社会科学研究所博士課程（後期）法律学専攻単位取得満期退学・博士（法学）、パリ第2大学第3課程（博士課程）、上級免状（憲法）取得。
1995年安田女子短期大学・同女子大学講師、助教授を経て、2006年大阪府立大学経済学部教授、2012年から現職に至る。主な著書：『亡命と家族』（有信堂）（単著）2015年、『謎解き 日本国憲法（第2版）』（有信堂）（共著）2016年。

第3回

南極における不思議体験
および雪氷中の化学反応
—大気雪氷間物質交換過程—
11月26日（土）14：00～15：30

第57次南極地域観測隊の夏隊として、南極大陸の沿岸より100 kmほど中に入ったH128地点で1ヵ月半生活しました。その中で出会った、いくつかの不思議な現象について写真をまじえて解説します。また、主目的である雪氷から大気へ物質が移動する過程についてお話します。大気中で様々な影響を及ぼす窒素酸化物は、地表へ除去される最終形態と考えられている硝酸となり、大気中から除去されますが、南極では、光により分解し、大気へ戻ってきます。

竹中規訓（現代システム科学域 環境システム学類 教授）

1961年大阪府生まれ。大阪府立大学大学院工学研究科 博士後期課程、博士（工学）。
1991年大阪府立大学工学部助手、2000年同学部講師、2002年同学部助教授を経て、2012年から現職に至る。主な著書：『Recent Developments of Chemistry and Photochemistry in Ice, Ed. by N. Takenaka, Transworld Research Network』2008。

第5回

拡張現実と人工知能
：ICTイノベーションを生むキーテクノロジー
3月11日（土）14：00～15：30

半導体技術の進展に伴い、マイクロプロセッサやメモリの高性能化と無線システムの高速化が一気に進み、これらを応用したシステムやサービスが指数関数的に増殖しています。特に近年では、人工知能分野で急速な進展があり、そこに大きな投資が流入して大小様々なイノベーションが百花繚乱、玉石混交で生まれるカオス状態です。セミナーでは、この状態を生み出したキーテクノロジーを俯瞰し、特徴的なアプリケーション、サービス、ビジネスについて紹介します。

第2回

シンギュラリティを生き抜くために
11月19日（土）14：00～15：30

シンギュラリティとは、コンピュータが人間の知性を超えてしまう時点のことです。最近、人工知能やロボットに雇用が奪われるのではないかとマスコミが盛んに不安を煽る報道をしています。日本人は不安感が強い国民だと言われています。しかし、これからの情報化の流れに不安を抱いて背を向けて生きていくことは必ずしも得策ではありません。日本にとって、情報化が進められたこの20年間はどうかであったのか、日本のこれまでの情報化の経緯や同時期の海外の事例をもとにお話しします。これからの情報化社会を前向きに生き抜くためのヒントを皆さんと考えたいと思います。

渡邊真治（現代システム科学域 知識情報システム学類 教授）

1967年愛媛県生まれ。神戸大学大学院経済学研究科博士後期課程退学、博士（経済学）。
1993年大阪府立大学総合科学部助手、2001年同学部講師、2010年人間社会学部准教授を経て、2014年から現職に至る。主な著書：『Economic Analysis of Information System Investment in Banking Industry (Springer)』（共著）2005年、『金融業の情報化と組織に関する経済分析』多賀出版（単著）2009年。

第4回

経済学における知の継承と発展
2月18日（土）14：00～15：30

経済学におけるものの見方・考え方についてお話します。現在議論されている経済学のテーマ「格差社会」、「環境問題」、「資源の枯渇問題」、「成長か脱成長か」、「TPPにおける自由貿易と保護貿易」、「人口問題」、「福祉国家の大きな政府か自己責任の小さな政府か」という問題は、決して新しいテーマではありません。これらは過去の経済学者がすでに議論をしてきたテーマです。過去の経済学者はどのように考え、これらの問題にアプローチしてきたのでしょうか。アダム・スミス以来の経済学者における英知がどのように継承し発展してきたのかについて、考えてみたいと思います。

近藤真司（現代システム科学域 マネジメント学類 教授）

1960年大阪府生まれ。龍谷大学大学院経済学研究科博士課程単位取得退学、英国ダーラム大学大学院修了MA、博士（経済学）。
1994年大阪府立大学経済学部講師、1999年同学部助教授、2010年同学部教授を経て2012年から現職に至る。（その間英国ダーラム大学、エクセター大学にて客員研究員）主な著書：『マルサス、ミル、マーシャル—人間と富の経済思想』（昭和堂）（編著）2013年、『福祉の経済思想家たち』（ナカニシヤ出版）（共著）2010年。

また最近注目されているヘッドマウントディスプレイによるバーチャルリアリティ・拡張現実や人工知能（Deep Learning）について簡単に解説します。

太田正哉（現代システム科学域 知識情報システム学類 教授）

1965年奈良県生まれ。大阪府立大学大学院工学研究科博士後期課程電気工学専攻（電気第6講座）修了、博士（工学）。
1996年大阪電気通信大学通信工学科講師。2002年大阪府立大学大学院工学研究科電気・情報系専攻電気情報システム工学分野講師。2012年同大学現代システム科学域知識情報システム学類准教授を経て、2016年から現職に至る。また、2004年から有限会社アルゴリズムカ取締役社長を務める。
主な著書：『例解デジタル信号処理入門』（コロナ社）（単著）2013年。

平成28年度 連続セミナー 「第1回～第5回まで全回一括」FAX 申込書

※は必須記入項目

※お名前	ふりがな	※年齢	
	〒		
※TEL (日中連絡のつくもの)		FAX	

申込締切 平成28年8月19日（金）必着

FAX送信番号：072-254-9925